

令和6年度 第1回 図書館協議会会議録

日 時：令和6年8月6日(火曜日) 午後2時～午後3時30分

場 所：長岡京市立図書館 3階 大会議室

出席者：委員(10名)

前田委員、田中久代委員、向井委員、小山委員、浅田委員、大島委員、遠藤委員、刈滝委員、田中久美子委員、原田委員（委員名簿順）

欠席者：なし

事務局：西村教育長、西村館長、馬淵係長、高橋主査（文責）

傍聴者：（1名）

- 案件：（1）長岡京市図書館協議会委員の任命について
（2）令和5年度図書館事業報告について
（3）令和6年度図書館事業計画について
（4）その他

議事

1 開会

2 長岡京市図書館協議会委員の任命について
教育長より任命状交付。

3 教育長あいさつ

コロナ禍後の図書館は順調に行事参加者数も回復し、ボランティアによるイベントや新たな企画等により、活気を取り戻している。

一方、生活変化やメディアの発達普及に伴う読書離れ、10代の利用が少ないといった課題もある。まずは、図書館に足を運んでもらうきっかけづくりとして、図書館ナビゲータとして活躍している中高生発案の企画によりボードゲーム大会をしたり、長岡京市にお住いの作家やカメラマンといったプロのお仕事の話を聞く機会を設けたり（お仕事図鑑）と努力をしている。お仕事図鑑では小学生から大学生まで延べ32名の参加があり一定の手応えがあった。今後も図書館が若者のことを知り、身近な存在となり得るよう、試行錯誤を続けて行く。

本日は、本市図書館の令和5年度事業報告と令和6年度事業計画を示させていただく。現在の図書館の姿をご理解いただいた上で一番基本となる本の貸出しをはじめとして、図書館に人を呼び込む手立て、その他サービス全般について、委員の皆様から

ご意見を頂戴できればと思う。図書館が「教養・文化・情報の拠点」として市民に気軽に利用してもらえる場所になるようご協力をお願いしたい。

4 自己紹介

委員・事務局の自己紹介後、教育長は公務により退席。

5 会長・副会長選出

長岡京市図書館設置条例施行規則第 11 条に基づき、委員の互選により外滝委員が会長に、向井委員が副会長に推薦され、承認された。

6 会長あいさつ

【会長】

図書館協議会は、図書館長が相談したいことがあればその諮問を受け、委員である私たちが協議をして図書館長に考えを伝える諮問機関である。また、市民の目線での意見を図書館長に伝えることが私たち委員の役割である。会議の場だけでなく、普段からも思っていることを伝え、また館長の相談に乗るようよろしくをお願いしたい。

7 議題

(1)令和 5 年度図書館事業報告について

【事務局】

長岡京市立図書館は 3 つの方針を基に、運営していることを確認する。

- 1.生涯学習の中核施設として、市民サービスに努める。
- 2.図書、その他の資料を介して、市民の教養、調査研究、レクリエーションに資し、その自己啓発と暮らしに役立てる。
- 3.親しみがあり、気軽に利用できる運営に努める。

・貸出状況について

令和 4 年度比で、令和 5 年度の個人貸出冊数は 2,754 冊減り、0.65%の減少となった。貸出者数は 2,719 名減り、1.77%の減少となった。

貸出し冊数の増減が大きい月について述べると 5 月は 1,429 冊減った。コロナ禍の巣ごもり需要がなくなり大型連休に出かける方が増えたためと考えている。7 月・8 月の減少についても同様の原因であると推察している。9 月に 912 冊増加していることについての説明は、令和 4 年度は令和 3 年度に比べ 3 万冊減少しており、コロナ禍の巣ごもり需要が緩和されたのが令和 4 年度、特に行楽月である 9 月が貸出冊数の減少が顕著だったためと考えられる。令和 5 年度はコロナ禍前に戻りつつある。2 月に 1,506 冊増えているのは、開館日数が 1 日多いため 1 日の平均貸出冊数分増えていると考えられる。3 月の増加については原因が分からない。今後動向を見ていきたい。

・予約状況について

全体として 3,056 冊増え、4.7%増加している。予約方法は、業務端末(図書館にてカウンターでの予約)、電話予約、Web(パソコン)予約、携帯・スマホ予約の 4 種類ある。

携帯・スマホ予約が 3,329 冊増え、9.6%増加している。Web(パソコン)予約は 849 冊減り、3.9%減少している。パソコンより携帯・スマホからの方が気軽に予約できるため、このような結果になったと考えている。

【会長】

事務局がなぜ数値を指標として説明したのかということ、図書館の基本的理念を実現できているか、図書館の活動の結果や市民にどれだけ図書館が利用されているかについて、ある程度貸出者数や個人貸出冊数から読み取ることができるからである。

【事務局】

・令和 5 年度各種行事について

年間を通じて 22 の事業を開催した。

恒例の年 2 回開催の読書講演会の 1 回目は、5 月に児童文学作家のとよたかずひこ氏を招き作者自身による絵本読み聞かせや紙芝居実演を楽しんだ。2 回目は、11 月に笠谷和比古氏を招き、「関ヶ原の合戦から大阪の陣へ」をテーマにお話しを伺った。読書ボランティア養成講座では、読書ボランティアグループが 1 グループ新設され、現在 7 グループが登録、6 グループが読書ボランティアによるおはなし会で活動している。

また、令和 5 年度は特に 10 代をターゲットに、図書館をより身近に感じてもらうため、有志の市内中学生達が自主的に図書館で様々な取り組みを企画する「図書館ティーンズナビゲーター」を実施した。7 月・8 月には図書館を見学し、理想の図書館について意見を交わしてもらった。3 月 10 日には、「お仕事図鑑」と題して児童文学作家のやすいやくしさんを招き、作品が出来上がるまでについてお話をいただいた。雑誌スポンサー企業企画講座は、令和 5 年度初の試み。雑誌スポンサー制度は、市内で事業活動をしている団体・法人に雑誌購入費を負担してもらい、図書館で企業広告や PR ができる制度である。雑誌スポンサー制度の PR を目的に、スポンサー企業の得意分野を生かし生涯学習の場をつくる地域貢献活動として始めた。スポンサー企業の一つであるフォトスタジオの方に講師を務めていただき、こども向けのカメラ教室を 2 回開催した。

次に、館内ディスプレイ（図書の展示）は、季節やテーマに応じて様々な展示を行った。1 月の「新春わくわくぶくろ（本の福袋）」は毎年人気である。特徴的なものは雑誌スポンサー企業や市の各部署・関連機関と連携した展示である。男女共同参画センターとの共同で「LGBT」、地域包括支援センターは 9 月の世界アルツハイマー月間に合わせ「認知症特集」をテーマに関連本を展示し各課の啓発に繋げた。秘書課との連携による「市長のおススメ」では、市長が市公式ホームページの雑感日記の中で令和元年から毎年「今年の 5 冊」として発表してきた本を展示した。

また、文化財保存活用課が作成した冊子「長岡京市の！タケノコ食べスト」を PR する展示を行い、タケノコや郷土についての本を展示するとともに冊子の配布に貢献した。職業体験の中学生の選書による「中学生の推し本」の展示は新たな試みとなった。雑誌スポンサー企業との連携では雑貨店との企画で「昭和レトロ」、お弁当屋さんとの企画で「お弁当の魔法」をテーマに展示を行った。

【会長】

令和5年度に取り組んだ事業や市内の色々な機関と連携して活動を進めていることが良く分かった。各委員から質問や意見をいただきたい。

【副会長】

最近よく京都新聞に図書館のイベントが紹介されている。イベントの様子やボランティア団体が楽しく活動していることを知ってもらえて良い。

【委員】

小学校は社会見学（図書館の施設見学）で図書館と関わりがある。中高生が参加できる場があることは素晴らしい。小学生からも何か発信できればと思う。

【委員】

昨年、一昨年と、図書館から何か掲示をして欲しいと乞われ、長岡第三小学校の図書委員等で本の紹介する掲示をさせてもらった。こうした活動をもっと他の小学校にも広げていけたらと思う。

【委員】

館内ディスプレイは色々なテーマで広く展示されており、素晴らしい。本の福袋が面白いと感じた。

【委員】

報告のあったたくさんの事業はどれも魅力的な内容であるが、魅力が市民一人ひとりにどれだけ伝わっているか。知らない人の方が多いのではないか。子ども達に上手く魅力を伝えるのが大切だと思う。

【委員】

小学生向けの行事が多い印象を持っていたが、しっかり大人に向けても発信されていると思った。市民の皆さんへ向けての発信方法を知りたい。予算があってこのような事業を計画されているのかどうか知りたい。

【委員】

子ども向けの行事が多いと思っていたが、大人向けの企画もきちんとあり、努力されていると感じた。たくさんの人に図書館を利用して好きになって欲しい。

【委員】

司書だけでなく、市民の持つ力を取り入れて事業を盛り上げていることが分かり、ワクワクした。現在の図書館行事は図書館に行かないと参加できないものが多いが、障がいのある方など図書館へ足を運びにくい方への普段の対応はどうなっているのか。また、働く世代へのアプローチ、中高生を含め図書館の居場所としての機能について

知りたい。「子どもの読書活動推進計画」では学校教育との連携や学校教育への援助について書かれているが、図書館と学校との連携はどのようにしているのか知りたい。図書館が子どもたちに果たす役割は大きいと思う。

【委員】

non・noなどの雑誌がスポンサー雑誌として入れられていることを初めて知った。仕事帰りなど夜遅くに本を借りたい利用者のために、閉館している時間帯に借りられる貸出ポストを設置してもらえないか。

【会長】

色々なご意見をいただいた。十代に焦点を当てた行事に力を入れていると感じた。ハンディキャップがある方はどうしているのかという質問があったが、図書館はこうした需要をしっかりと受け止めているので館長から回答してもらう。前回までの議題に上がっていた開館時間についても含め、事務局の方から回答をお願いする。

【事務局】

委員の質問へ回答する。発信方法は、市や図書館のホームページ、市の広報、市公式LINEで発信している。イズミヤ・フレンドマート・JR長岡京駅・阪急長岡天神駅にて行事ポスターを掲示してもらっている。また、新聞への掲載依頼も行っている。行事は、少ない予算の中で調整して行っている。

委員の質問へ回答する。図書館へ来館することが困難な方へのサービスとして、平成31年4月よりアウトリーチサービスとして、貸出期間を30日間に延長し、月2回自宅へ本の配送・回収に行くサービスを行っている。また、学校との連携では学校貸出を行っており、200冊を上限として貸出期間を1年間まで延長している。

委員の質問へ回答する。バンビオを利用して欲しいというのが現時点での回答である。今までに開館日数を増やしてほしい等の要望があったことも含め、皆さんの意見としてしっかりと受け止めて対応していきたい。

【委員】

学校貸出について、車に乗れる司書ばかりではない。100冊選書しても運ぶ手段が無い。学校によって貸出冊数に差があるのは、そうした事情もある。以前、数冊であれば市の内部ルートを使用できるがそれ以上になると不可能との回答をもらっている。今後多くの本を運んでもらうことはできないか検討してほしい。

【会長】

物流の事情は自治体によって様々であると思うが、協議会の意見として館長に伝える。

委員の発言にあった貸出ポストについても、協議会からの新たな意見として館長に伝える。開館日数の件も含め検討事項はあるが、公共図書館としての基本的業務をしっかりと行っていくことが大切であるというのが前任の協議会委員の総意でもある。それ

が十分にできるよう、職員の体制や仕事の内容など総合的に考えて進めて行くことが肝要である。

以上、「令和 5 年度図書館事業報告について」は、異議等無く承認された。

(2)令和 6 年度図書館事業計画について

【事務局】

概ね令和 5 年度と同様の内容で開催を予定しているが、令和 5 年度より開催回数が増えるイベントもある。既に終了しているものについては、報告も兼ねさせていただく。

「よもう！たのしもう！かがくの本！」は、令和 5 年度は 4 回であったところ、今年度は 5 回を予定している。すでに今年度 2 回開催済み。6 月には勝竜寺城公園でキノコ観察、7 月にはセミをテーマに抜け殻観察や標本作りを行い、大変好評であった。大変人気のイベントなので、回数を 1 回増やした。

「絵本で楽しむ英語のいっぽ」は、令和 5 年度は 1 回であったところ、今年度は 2 回を予定している。6 月に、親子が家庭で英語絵本を楽しむ方法を学ぶ、という内容で、図書館所蔵の英語絵本を使用して読み聞かせ、手遊びやリズム読みをしながら絵本を紹介した。

読書講演会は例年通り 2 回を予定。1 回目は児童文学作家の楠章子さんを招き 5 月に開催した。著作である認知症と向き合う家族の様子を小学生の目線で描いた絵本を主体に、ご自身の経験や作品に込められた思いなどを聞く貴重な機会となった。11 月には、笠谷和比古氏を招いて長岡京市の歴史に触れる講演会を開催予定である。

力を入れている中高生読書活動については、7 月にプロのカメラマンにお仕事の話を引き「お仕事図鑑」を開催した。小学 5 年生から大学 1 回生まで 13 名の参加があった。アンケートに、カメラのことだけでなく人とのつながりの大切さを感じたと記入している子どももいた。良好な人間関係をつくることの大切さを学ぶ機会ともなった。このイベントはこれからも継続していきたい。

今後、直近では 8 月 15 日、「宮沢賢治の音楽会」というテーマで当館の司書がお話をする図書館の文学講座がある。

【会長】

以上、「令和 6 年度図書館事業計画について」は、異議等無く承認された。

(3) その他

【事務局】

1.LINE 配信について

令和 5 年 9 月より、「長岡京市公式 LINE」で「図書館つーしん」として図書館の情報を定期的に配信している。LINE からのイベント申込みも可能となった他、新着資料の検索・予約ボタンも設定され、イベント申込みや新着資料の検索が容易にできる。

2.エレベーター改修工事について

利用者用エレベーター工事を予定している。工事日程は9月16日から10月末日を予定している。工事期間中は、基本的には階段を利用することになる。身体が不自由な方やベビーカーで来られている方へは、職員用のエレベーターを案内する。また、1階のみんなのトイレは使用できなくなるので、2階のみんなのトイレを利用していただけことになる。騒音の発生も予想される。利用者の皆様にはご不便ご迷惑をおかけするがご理解ご協力をお願いしたい。改修工事の影響を最小限にするために、例年2月に実施している蔵書点検による休館を、9月16～25日に設定している。

3.長岡京文化センター市民ひろば駐車場有料化について

以前より、満車時に入庫待ちの車で道路が渋滞することで苦情が出ており、検討を重ねる中で、渋滞を解消する手立てとして駐車場の有料化も一案として出ている。

【会長】

情報の発信方法について、図書館がLINE配信やホームページに力を入れているという印象を持った。

【委員】

LINE配信について、長岡京市の公式LINEの友だち登録したうえで図書館情報の受信設定をする必要があるのでは、登録者数が伸びにくいのではないかと感じた。ひと手間かかるのがもったいないと感じた。図書館専用のLINEを作り、イベントのポスターなどのQRコードから直接図書館の友だち登録ができれば登録者数の増につながるのではないかと。

開館時間について、開館日を増やしても、昼間に仕事をしている方はなかなか利用できない。

月1日だけでも夜間開館している日を設ける方が利用者増に有効でないか。

【会長】

開館日数については前任の協議会で議題にあがっており、引き続き検討中である。その中に、夜間開館のことも意見としてつけ加えることとする。

【委員】

駐車場有料化について障がいのある方やベビーカーで来られる方もおられるが、全て場所が駐車場有料化の対象となるのか。

【事務局】

駐車場は公民館の駐車場であるが、公民館だけでなく、文化会館や図書館を利用する方にも利用していただいている状況である。駐車料金については一定時間無料にするなどの方法も考えられる。料金やその他に関しても、これから検討していく段階である。出された意見は検討の場に伝えていきたい。検討して決まった内容は協議会で報告させていただく。

8 閉会

【会長】

以上で本日の案件は全て終了した。

図書館が公共図書館としての基本業務を十分に行いつつ、限られた人材・予算の中で将来を見据えて良い図書館を作っていけるよう、今後とも市民目線での意見をお願いしたい。

【事務局】

熱心なご議論ありがとうございました。次回協議会は、令和7年2月を予定。